

海女によるアワビ養殖技術の開発

アワビのカゴ養殖マニュアルの作成

近年アワビの漁獲量が減っていることから海女の収入は少なく、不安定になっています。そこで、海女の収益向上のため、カゴを用いた簡便なアワビ養殖手法を開発し、「アワビのカゴ養殖マニュアル」を作成しました。

カゴを用いたアワビの養殖方法

アワビ集荷用のプラスチック製カゴ(大きさ40×55×30cm)を用意し、中にアワビが生息するためのシェルターを設置します。殻長約3cmのアワビ種苗**100個**を収容し、栈橋やはえ縄式のロープから水深2~5mの海中に吊るし、**約半年間、週に1回の頻度で海藻を給餌**して養殖します。



カゴに収容するアワビの個体数

カゴへの**収容個体数は、100個**を目安にしてください。

アワビを多く(200個)収容した場合と少なく(100個)収容した場合での比較試験では、100個の方が1.3倍成長が良くなることがわかりました。



養殖期間中の給餌

与える餌は、**海藻(サガラメ、カジメ、ワカメ)**が適切です。

餌の種類を配合飼料と海藻で比較した結果、成長は配合飼料の方が優れていましたが、身質では海藻の方が肝の香りが良く、身の歯ごたえと味も優れていました。

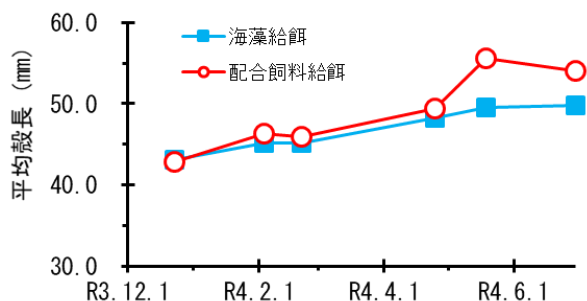


図. 養殖試験におけるアワビの平均殻長(mm)



図. 食味試験に用いたアワビ料理



三重県水産研究所 沿岸資源増殖研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0016

FAX(0599)53-2225